

ひろげる・つなぐ・かえる

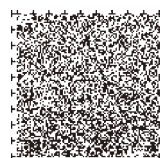
2010

9



8月から始まったNPOの新しいごきを議論する「みえNPO検討会」

下の模様は SP コードと呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



先日、家族ぐるみでおつきあいをしている家のお父さんから突然メールが届いた。「やっぱり明日泊めてください」。長らくご無沙汰をしていたが、久しぶりに近くまでくるといふ。「だったらみんなで泊まっていったら?」とお誘いをしていたのだが、その数日前にお母さんから遠慮を感じさせる内容のお断りメールをいただいていた。

「実は僕が泊まりたいんですよ」と屈託なく書いてきたお父さんのお仕事は医療関係の営業マン。バリバリのやり手で会社でも一目置かれているらしい。そして一家はニコニコと我が家に来て、楽しく飲み、子どもたちは片時も離れることなく遊び、そして翌日のお別れの時、娘は泣き顔になった。

疎遠になりかけていた私たちは、これがきっかけで今後もおつきあいを続けていこう。すべては、かの家のお父さんの、遠慮のない「お願い」のおかげである。さすが、やり手の営業マンは違う、と感心させられた。

相手に迷惑がかかる、厚かましい、と言って相手の懐に飛び込んでいかない、これが私たちの悪い癖である。しかし、遠慮や配慮をすることが、相手との関係性を薄めることに繋がるなら、そこに新たな価値は生まれてこない。

日本の NPO セクターはどうだろう。人々がボランティアや NPO 活動に興味を持っていることは多数の調査からも明らかである。しかし、それを実現するために必要な NPO セクター側からの「お願い」をできているだろうか。

地域の中で多くの人々と繋がることで、NPO の社会的な価値は高まり、持続可能性が向上する。ただそれは、淡々と事業をこなしていくだけでは実現しない。積極的に人々にアプローチする姿勢、それこそが繋がりを強化する。

私たちも、地域に向かって厚かましいお願いをどんどんしていこうではないか。お願いされることで、やっと重い腰を上げることができたと快く受け止めてくれる人々が、そこにはたくさんいるはずなのである。

助成金情報



市民活動



子育て



まちづくり



市民活動

財団法人 かめのり財団 第4回かめのり賞募集

受付期間 8月23日(月)～9月15日(水) 必着

対象団体 日本とアジア・オセアニアの国際相互理解の増進に草の根で貢献している NPO (非営利団体)、ボランティアグループ、個人とします。ただし、第1～3回表彰者は、受賞後5年間は応募できません。

対象活動 交換留学、文化・スポーツの青少年交流、語学教育など、日本とアジア・オセアニアの相互理解の増進に貢献している方々の活動。

選考方法 次の基準を総合的に評価します。

- ・これまでの活動における貢献度
- ・活動の継続性や自主性、独自性
- ・他団体との有機的な連携や協働、地域との結びつき
- ・今後の活動への期待と将来の活動の可能性

応募方法 次の応募書類を当財団までお送りください。

1. 所定の応募用紙をホームページからダウンロード(全6ページ)。6ページ目は活動の様子のわかる画像2枚を A4 用紙に収まるよう印刷するかプリント写真を貼付すること(画像の説明文を必ずつけること)。
2. 所定の推薦書事業関係者などからの推薦書を必ず提出のこと。
3. 組織・活動の内容を記したパンフレットなど。
4. 今年度の事業計画書、予算書および過去2年間(可能な範囲で)の事業報告書、決算書またはこれらの内容を記したもの。
5. 活動報告書やアンケート結果など活動成果のわ

かるもの(可能な範囲で)。

6. 今年度以降、特に予定している新規事業があればその内容を記したもの。

※応募書類は返却しませんのでご了承ください。

表彰 10件までに、正賞の記念の楯および副賞として50万円の活動奨励金を贈呈します。

【発表】平成22年12月上旬に審査結果を郵送にて通知します。

【表彰式】平成23年1月7日(金)に東京都内にて開催の予定です。

※受賞者は、必ず出席していただきます。

問い合わせ先 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-5 共立麹町ビル 103号室

財団法人かめのり財団「かめのり賞」係

Tel 03-3234-1694 Fax 03-3234-1603

E-mail info@kamenori.jp

ホームページ <http://www.kamenori.jp/>

※個人情報の取り扱いについてはホームページでご確認ください



子育て

パナソニック教育財団

2010年度子どもたちの“こころを育む活動”募集

受付期間 9月30日(木)(消印有効)

対象団体 子どもの体験活動の機会・居場所作りや、様々な媒体を活用した広報・啓発活動、地域や企業と連携した安全活動など、子どもたちのこころを育む活動を行う団体や個人。

自分がそだち
人がそだち
組織がそだつ



NPO法人会計基準って何？

学びませんか？！「NPO法人会計基準」



7月20日、NPO法人の会計が新たな一步を踏み出しました。これまで、分かりにくく信頼性がないといわれて来たNPO法人の会計。NPO自らの手により、多くの人の参加・協力を得て、「市民にとってわかりやすい会計報告」、「社会の信頼にこたえうるような正確な会計報告」という視点から、一年以上の議論を行い、「NPO法人会計基準」が作り上げられたのです。その基本的な考え方を理解し活用できるように、勉強会を行います。

講師プロフィール 中尾さゆり

NPO法人会計基準協議会メンバー。NPO法人ボランティアネイバーズ主任研究員、NPO会計支援・モリコロ基金担当。NPOの会計支援（個別相談、会計日々の記帳指導、決算フォロー）などを行っている。NPO法人事業報告書等や助成金申請書作成のコツなどをテーマに講演をこなす。愛知県NPO専門アドバイザー。

日時 9月21日（火）19：00～21：00
場所 みえ県民交流センター 交流スペース
講師 中尾さゆりさん
対象 関心のある方
参加費 無料
問い合わせ みえ NPO センター・ワーカーズコープ
E-mail center@mienpo.net
Tel 059-222-5995
Fax 059-222-5971

また次の項目に該当する団体・個人であること。

- ・活動の拠点が日本国内にあること
- ・政治活動、布教、営利目的でないこと
- ・2008、2009年度“こころを育む活動”の受賞団体・個人でないこと

対象活動 次の3つの工夫のいずれかが認められること。

- ①進める工夫（活動の対象や目的が明確で、進め方における工夫・努力がある）
- ②広げる工夫（ネットワークを作り、活動を広げるための工夫・努力がある）
- ③続ける工夫（活動を継続するための仕組み・工夫がある）

表彰 【団体の部】

全国大賞（1件）賞状・楯・賞金100万円
ブロック大賞（各ブロックから1件）賞状・楯・賞金30万円
※全国大賞が選出されたブロックは除きます
奨励賞（若干数）賞状・記念品

【個人の部】

個人賞・奨励賞（若干数）賞状・記念品

応募方法 所定の応募用紙（ホームページからダウンロード）に必要事項を記入し、下記住所に郵送ください。活動の内容が分かるような追加資料や写真等があれば、A4用紙5枚以内で添付していただいても結構です。
※Fax・メールでの応募はお受けできませんのでご注意ください。

※その他詳細はホームページをご覧ください。

問い合わせ先 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-1-10
第2ローレルビル6階
財団法人パナソニック教育財団内「こころを育む総合

フォーラム全国運動事務局]

Tel 03-5521-6100

ホームページ <http://www.kokoro-forum.jp/>

まちづくり

2010年度（財）地域生活研究所一般研究助成事業

受付期間 9月30日（木）（消印有効）

対象団体 対象となる研究分野に関して、研究を行いたいとする個人、および共同研究の代表者。

対象活動 消費生活、まちづくりなどの当研究所が実施する調査・研究事業の研究テーマに関連する研究

助成金の額 研究助成費は総額100万円とし、1件50万円を限度とします。

応募方法 次の①～③を当研究所宛に郵送ください（③は任意です）

- ①地域生活研究所一般研究助成応募申込書1通
- ②申し込み受理確認連絡用の返信用ハガキ1枚、及び採否連絡用の返信用封筒1枚（それぞれにご自分の名前・住所を記し、封筒には80円切手貼付のこと）
- ③その他、申込書を補足するもの（書式自由）、参考資料など（申込書末尾の所定欄に細目を記入のこと）。※その他詳細はホームページをご覧ください。

問い合わせ先 〒164-0011 東京都中野区中央5-41-18
東京都生協連会館

財団法人地域生活研究所・研究助成担当（三浦・林）

Tel 03-3383-8292 Fax 03-3383-7840

ホームページ <http://www.chiikiseikatsu.org/>

NPO から寄せられた募集とご案内

NPOの新しい動きを議論する

みえNPO検討会

第3回「NPOの説明責任とその保証
公益ポータルサイト・第三者認証」
を議論する。日本財団CANPAN事
務局の山田泰久さんを講師に招き、N
POが自分自身を説明するポータルサ
イトとその記述の正確さを認証する第
三者のしくみについて議論の材料を提
供いただき、15人のみえNPO検討
会委員が公開で議論します。

日時 9月3日(金) 19:00～21:00

第4回「NPOのネットワークによる
行政・社会への働きかけ」を議論する。
市民活動センター神戸の理事で事務局
長の実吉威さんを講師にお招きし、N
POが連携して必要な制度外のサービ
スを提供し、制度内への提言を行い、
必要なサービス提供のネットを構築す
る。それについて公開で議論します。

日時 9月17日(金) 19:00～21:00

場所 アスト津3階(津駅東口隣接ビル)
みえ市民活動ボランティアセンター

問い合わせ先 (特活) みえNPOセンター

Tel 059-222-5995

E-mail

mienpoken-office@miraiwork.jp

ホームページ

<http://www.mienpocenter.org>

笑う門には福来る・笑いは副作用の無い薬

ラフターヨガ(笑いヨガ)

リーダー養成講座

ラフターヨガ(笑いヨガ)はインドのカ
タリア医師が考案した新しい健康法!誰
にでも簡単に出来る笑いの体操です!

日時 9月4・5日(土日) 9:30～17:00

場所 アスト津3階(津駅東口隣接ビル)
イベント情報コーナー

2日間受講の方には、ラフター
ヨガ創案者マダン・カタリア医
師の認定書授与(有料)。

※要申込み(名前・連絡先を書
いて、FaxかEメールで)

主催 「三重ラフター(笑い) ヨガクラブ」

問い合わせ先 Tel & Fax 059-230-4077(加藤)

E-mail

dna-rumi@mve.biglobe.ne.jp

ホームページ

<http://blogs.yahoo.co.jp/terurinclub>

—みんなは、未来のために何をしますか—

みえ生物多様性シンポジウム 2010

日時 9月9日(木) 13:30～

場所 津センターパレスビル5階 ホール

定員 200名

参加費 無料(要申し込み)

応募締切 9月3日(金)

プログラム ・基調講演

「森・里・海の連環が守った
生物多様性」

国際日本文化研究センター教授

安田 喜憲

・生物多様性に係る三重県取組発表

・パネルディスカッション

テーマ 「生物多様性を考える
～次世代に向けて～」

コーディネータ

三重大学名誉教授 武田 明正

主催 三重県、三重県商工会議所連合会、

財団法人三重県環境保全事業団

問い合わせ先 三重県環境森林部自然環境室

野生生物グループ

Tel 059-224-2578

Fax 059-224-2070

E-mail shizenk@pref.mie.jp

いざという時の適切な対応のために

【普通救命講習】参加者募集!

応急手当の目的と必要性・心肺蘇生法・
AEDの正しい取り扱い方などを学ぶ講
習です。※修了証あり。松阪市外の方
も受講できます。

日時 9月14日(火) 13:00～16:00

場所 松阪市市民活動センター(松阪市
日野町788)カリヨンプラザ3F

講師 松阪地区広域消防組合消防本部
消防課 講習担当者

定員 先着30名程度

参加費 無料

応募締切 9月7日(火)

申込み Eメールまたはお電話で申し込
みください。Eメールの場合、件名を
「普通救命講習申込み」とし、氏名、
住所、性別、生年月日、連絡先、
普通救命講習受講歴を明記(講習
を受けたことがある方のみ)。

問い合わせ先 松阪市市民活動センター(担当:澤)

Tel 0598-26-0108

E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

生ごみリサイクル・堆肥化を推進

生ごみ堆肥化講座

家庭から出る生ごみを地域の循環資
源として、リサイクル・堆肥化を推進
し、作った堆肥を野菜や花づくりなど
に活用できる知識を身に付けた、指導
者の養成を行います。

日時 9月18日(土) 10:00～16:00

9月25日、10月23日、12月
18日、23年2月26日(い
ずれも土曜日、13:00～16:00)
の5日間で1講座です。

場所 東員町資源ごみストックヤード
(員弁郡東員町大木51-1)

講師 (特活) 生ごみリサイクル思考の会
理事長 川島 浩

内容 第1回(9/18)は、

午前:生ごみ堆肥化リサイクル
の意義・全容を学ぶ講義

午後:堆肥作りの技術・実習
(床材づくり)

対象 ・生ごみの堆肥化に興味があり、
ごみの減量に取り組みたい方
・有機農法に興味のある方
・自宅から出る生ごみを少しで
も減らしたい方

※車で堆肥等を運べる方

応募締切 9月10日(金)

定員 15名程度

参加費 材料代として2500円(コンボ
ストケースの作成のため)

主催 (特活) 生ごみリサイクル思考の会・
三重県環境学習情報センター

応募方法 氏名、〒、住所、電話番号、
携帯番号、FAX番号、eメー
ルアドレスをご記入のうえ、郵
便、FAX、メールのいずれか
でお申し込みください。

問い合わせ先 三重県環境学習情報センター
担当/川邊

〒512-1211 四日市市桜町
3684-11

Tel 059-329-2000

Fax 059-329-2909

E-mail info@eco-mie.com

～元気なまちづくりの極意伝授します～

他人事じゃない

少子高齢化を生きる!!ための
課題解決セミナー

少子高齢化社会の中で誰もが安心して暮

らしていくために地域が、行政が、企業が、そして名張に住むそれぞれがどうすればいいのかを一緒に考えるセミナーです。

第3回 新しい社会作りと自治会の役割

日時 9月19日(日) 13:30～15:30

場所 名張市市民情報交流センター
(名張市希央台5-19 Navarie・A棟2階)

講師 岩崎 恭典さん(四日市大学総合政策学部教授)

参加費 無料 ※申し込みは電話・FAX・メールで(当日参加も可能)。

主催 (特活)なばり NPO センター

問い合わせ Tel 0595-64-0051

Fax 0595-63-4314

E-mail

atarasiikou@yahoo.co.jp

チャリティー映画会

「葦牙(あしかび) ～こどもが拓く未来～」

児童虐待の当事者となった人たち一今、子どもたちが自ら未来を語り始めた。

みちのくのある児童養護施設の記録。

日時 9月23日(木)

① 10:00～12:10

② 12:40～14:50

③ 15:20～17:30

④ 18:00～20:10

場所 じばさん三重6F ホール
(四日市安島1-3-18)

参加費 一般 1000円、中学生以下
500円(当日200円増し)
※託児要予約

主催 子ども文化 NET

問い合わせ 四日市まんなか子ども劇場

四日市市西町15-16

Tel & Fax 059-351-6670

映画上映

ムーブメント平和への希望

2010.9月例会

日時 9月25日(土)13:30～16:30

場所 アスト津3階(津駅東口隣接ビル) みえ県民交流センター イベント情報コーナー

上映作品 『東京原発』(劇映画)

東京に原発を作る!都知事の突然の提案に大騒ぎになる都庁幹部会。しかし、その提案こそ、原発問題の真実を語る。

参加費 500円(チェルノブイリ支援コーヒータグ付き)

主催 平和憲法を世界に広げるネットワーク in 三重

問い合わせ 090-6807-1089(柴田)

【文化庁・委託事業】

「無料講座/聞き書きの魅力と方法を伝授します」

～聞き書きさんになって町の“ステキ!”大発見!～

誰かの話を聞き、聞いたことを書く。ただあったことを書きとめるだけでなく、その奥にある思いや精神を学び、伝えることができる「聞き書きさん」。そんな聞き書きの意義と実践の手法を、経験豊富な先生と楽しく学ぶ。

日時 9月28日(火) 19:00～21:00

場所 松阪市市民活動センター大会議室

参加費 無料

講師 遠藤由美子さん(奥会津書房・編集長)
98年に手作り本グループ「奥会津書房」を設立し、以来聞き書き書籍の発行を続ける。

対象 ・地域文化や民話に興味のある方
・一緒に「聞き書き」活動をしていただける方

・聞き書きを通じて、ボランティア体験をしたい方

・フリーライターを志している方 など

問い合わせ (特活) Mブリッジ(担当:青木)

Tel 0598-23-8400

E-mail info@tsutaetai.jp

ホームページ

http://tsutaetai.jp/

環境経営・保全取組の実践を表彰

「第9回日本環境経営大賞」の募集

応募期間 10月15日(金) 当日消印有効

表彰部門 ①環境経営部門(「大企業の部」「中小企業・団体等の部」の2部門)
環境保全取組が環境・経済・社会の3側面において総合的かつバランスのとれた持続可能性の高い経営につながっている事例

②環境価値創造部門

ライフスタイルの転換へのムーブメントにつながる環境保全取組(複数の多様な主体の協働・連携を含む)が、新たな環境価値の創造に貢献している事例

③CO₂削減部門

温室効果ガスの排出量削減について、これまでの実績とともに、将来の削減に向けた特色や社会的影響のある取組

応募方法 詳細はホームページにて。

問い合わせ 三重県 環境森林部 地球温暖化対策室

Tel 059-224-2368

E-mail kankeiei@pref.mie.jp

ホームページ

http://www.eco.pref.mie.jp/taisho/

【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました!

掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mailまたはFaxにて以下の要領でお送りください。

(1) フォーマットに必要事項を入力の上、毎月10日までにお送りください。

(2) E-mail は件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ

http://www.mienpo.net/center/

E-mail center@mienpo.net

Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえ NPO センター・ワーカーズコープ」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

株式会社、社団法人等の法人設立から許認可手続まで

NPO・社会福祉法人設立

事業報告、各種変更届等の作成もお手伝いします。

フリーダイヤル 0120-406-414

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所LLC内)
三重県津市本町14-18 URL www.e-houmu.info

理念と歩みから学ぶ
NPO物語
NPOSTORY

Vol.17

組織にスポットライトをあて
三重県内の市民活動団体を
紹介していきます。

「仕組み」と「仕掛け」で、
松阪市や三重県を
元気にしたい

特定非営利活動法人 Mブリッジ

事務局長 濱田 昌平／理事長 米山 哲司

「まちの声」に背中を押されて…

特定非営利活動法人 Mブリッジ(以下、「Mブリッジ」と略)の創設の経緯について教えてください。

松阪市市民活動センターの指定管理者の公募が平成17年にあった際に、「松阪のセンターは、松阪の市民がやるべきでは?」という声と、「NPOにまつわる施設の指定管理者は、株式会社ではなくNPOが担うほうが理想的では?」という声が多かったと聞いています。それが正しいかどうかの判断は別にしますが、そういう「まちの声」が多いというのは、大事なことですね。地元を愛する方々の素敵な言葉だとも思います。そんな声に背中を押されるように、まちづくり活動をしていた有志が集まって、NPO法人を設立することになったというのが経緯です。



松阪市市民活動センター

イキイキと活動できている理由は、市役所
が与えてくれた自由度でもある

各地の支援センターの個性も違って当たり前で、それが吸引力になりますね?

市民活動センターの運営には、各市町それぞれのスタイルがあっていいですね。「まちの顔、運営者の顔が見えない」と言われるよりは、「松阪らしい」、「Mブリッジらしい」と言われたいですね。そのためにいろいろとチャレンジしつつ、常に改善を続ける法人であり、市民活動センターでありたいです。松阪市さんに感謝したいのは、「指定管理者の自由度」を大切にしてくださっていることです。周りから「イキイキと活発だね」とよく褒めていただけます。これは、そのようにさせてくださっている市役所のおかげでもありますね。ありがたいことです。我々は、用意いただいている自由度を預かりつつ、利用者への配慮や、協定などの基本事項を忘れることなく、これからも施設を管理していきます。

空き店舗を有効活用し、賑わいに繋げたい

カルチャースクール「ブンカの交流館」が「まちづくり型」と呼ばれるのは?

営利企業も行政も提供しにくいサービスは、NPOの役割ですよ。このカルチャースクールの特徴は「まちづくり型」というところだと思います。民間の文化教室は利益の出ない講座運営はしませんし、行政は良くも悪くも堅い印象の講座が中心です。NPOの場合、それらのすき間に魅力的な仕掛けを作りたいと思っています。例えば、「プラモデル作り講座」とか、「おばあちゃんが教える漬物講座」って、ニッチな分野ですよ。

ね。しかし、これだけ趣味も多様化してくると、そういうニーズが生まれてきています。ここには深くて温かいコミュニティがありますね。

Mブリッジは松阪の中心市街地に位置しており、地元の商店街の方々などに関わりがあります。松阪だけに限らないでしょうが、「空き店舗が増えて寂しい」という声をよく聞くようになりました。この課題をなんとか解決したいというコミュニティビジネスの視点から「ブンカの交流館」の仕組みが生まれました。市民の中にはさまざまな技術や知識を持ってみえる方がたくさんいらっしゃいます。その市民が講師になり、空き店舗を有効活用し講座を開いてもらったら、賑わいに繋がります。それが自主事業の1つ「ブンカの交流館」です。

高く評価された「仕組み」

「なぜ、まちづくり型なのか？」ですが、ダンスの講座を例にします。通常のカルチャースクールは「その場で学ぶのみ」で終了しがちですが、我々の「ブンカの交流館」は発表の場を用意するところまでサポートします。例えば、中心市街地の祭りの中で成果を発表することができるような場を設けます。「学ぶ→披露する」、「披露する方が仲間を誘う→祭りが賑わう」ということです。これは今までにもあった普通のことかもしれませんが、その仕組みを提供してくれるところは意外に少ないのかもしれない。「ならば、NPOで!」という気持ちもありましたね。これからのまちの祭りは市民の力で盛り上げたいものですね。

もう1つの特徴は、講師が独立することを応援しているという点です。生徒さんも連れて出て行くことも否定しませんよ。一般的なカルチャースクールは、先生はお金を生んでくれる立場ですから手放さないですよ。我々は先生が出て行くことを勧めるんですよ。我々にとっては大事な講座がひとつ無くなるのは確かですが、他の空き店舗を埋めてもらえるならば、まちづくりに繋がると考え、応援しています。ちなみに過去に独立された講師さんと、それ以降も仲良くさせてもらっていますよ。

発表の場を提供したり、他の空き店舗を埋めたりというNPOらしいところから、“まちづくり型カルチャースクール”と言われるようになりました。この仕組みが高く評価され、2009年には経済産業省の「ソーシャルビジネス 55 選」に採択していただきました。この 55 選は「株式会社いろいろ (徳島県上勝町)」など全国的に有名な事例が選定されています。その中に我々も選んでいただけた理由は、仕組みとのことでした。今、この仕組みを他の市町にも広げ伝えようと考えています。ご興味ある方はぜひご一報ください。地元の人の力でまちが元気になりますよ。

これから期待されている新しい取り組み

「ぴのまちカフェ」と「ひと to まち出版室」について、お聞かせください。

先日、完成したばかりのコミュニティカフェが「ぴのまちカフェ」です。市民活動センターの入っているカリヨンプラザの一階が長く空き店舗のままでした。ここにカフェを作り、集いの場を設けたいということが一番の目的になっています。そこには「ブンカの交流館」の先生との繋がりを活かしつつ、先生の作品を紹介するための「ぴのまちギャラリー」を設置しました。俗に言うレンタルボックスですね。いろいろな集いのための貸切もお受けしています。

また、「ひと to まち出版室」という編集、印刷の取り組みも推進しています。民話、CSRレポート、自費出版などの発行を通じて埋もれつつあるさまざまな魅力を「伝えたい」と考えています。HPアドレスも <http://tsutaetai.jp/> なんですよ (笑)。

我々のまちづくり活動は、「“グローブ” と “リング” を提供するイメージ」です。例えば「私、何もできませんから」とおっしゃる方に「お持ちの技術は、立派なものですよ」とお伝えすることや、「お持ちの知識を出版されたらお求めの方がいらっしゃいますよ」とお伝えすることは、市民にボクシングのグローブを提供することだと思えます。で、その方が活躍できるリングも提供しますと、この方は多彩で豊かな経験をなさって達成感や生きがいを得ていただけます。

リングは、「ブンカの交流館」、「ぴのまちカフェ」、「自費出版」など多様です。ひとが元気なら、まちもいずれは元気になりますよね。そのようなまちづくり活動をしていきたいです。それが「松阪らしいね」と言われたら、本望ですね。



「ぴのまちカフェの活用風景」と「ブンカの交流館の東京での表彰シーン」

【データ】

三重県松阪市日野町788カリヨンプラザ1階
T e l 0598-23-8400
F a x 0598-23-8488
E - m a i l info@m-bridge.jp
ホームページ <http://m-bridge.jp/>
代 表 者 米山哲司
団体設立年月日 2006年3月3日
NPO法人化年月日 2006年6月22日
会 員 数 10名

県民交流センターの
一角にある図書コー
ナーでは、NPO、協
働、ボランティア、福祉、環境、防災など、
いろいろな分野の活動に役立つ本やビデ
オを貸し出しています。ぜひお立ち寄り
ください。

＜今月のおすすめ本＞

- ◆「NPO再構築への道」
～パートナーシップを支える仕組み～
著者：原田晃樹・藤井敦史・松井真理子
発行：勁草書房 発行日：2010年4月
- ◆「子どもと学ぶボランティア」
～「こっちょ」のボランティア授業論～
著者：鳥居一頼 発行：大阪ボランティア協会
発行日：2008年5月

ISO26000 国際標準化の動き

すべての組織のSR (Social Responsibility 社会的責任) 基準を話し
合う場が*ISO/SR 国内委員会として(財)日本規格協会に置かれ、議論
されてきました。政府、産業界、労働界、消費者団体、NPO/NGO、専
門家その他の6領域の利害関係者がバランスよく集まり協議するプロセス
がとられました。

ISO26000 は第三者による認証ではなく、「社会的責任の指針」として
大枠であらゆる組織のSRの基本原則を定め、それを世界中のSR基準と
することを狙いとしています。

「組織のガバナンス」「人権」「労働慣行」「環境」「公正な事業活動」「コ
ミュニティと社会開発への貢献」「消費者課題」の7つがSRを考える分野
とされており、近々決定される見込みです。NPOも責任を問われる時代
を目前にしているといえましょう。

【参照 <http://www.sr-nn.net/iso26000.html> <http://iso26000.jsa.or.jp/contents/>】

* ISO (International Organization for Standardization 国際標準化機構)

みえ市民活動ボランティアセンターから お知らせ Tel 059-222-5995/ ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

NPO無料よろず相談

毎回2団体先着順のため、相談日の1週間前までに
お申し込みください。

対象 NPO 法人設立を考えている団体や個人、
NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市
民活動に関心がある市民など。

日時 毎月第一火曜日(祝祭日の場合は翌日)
(1) 10:00～11:00
(2) 11:00～12:00

【今後の予定:9月7日、10月5日、11月2日】

場所 アスト津3階(津駅東口隣接ビル)
みえ県民交流センター

相談員 みえ県民交流センター指定管理者
みえNPOセンター・ワーカーズコープ
グループ代表 みえNPOセンターの代表理
事、同事務局長

中間支援組織担当者
ネットワーク交流会

～顔の見えるつながりを作りま
せんか?～

中間支援、NPO支援に関わる
人が集まり、共通の悩みや疑
問を出し合って、意見交換する
場です。参加は無料、会場は
みえ県民交流センター交流ス
ペースです。(※隔月に開催)

日時 9月9日(木)
13:30～16:00

テーマ 三重の財政状況
(三重県 総務部 予算調
整室)

表紙の写真



8月6日(金)、NPOの
新しいうごきを議論する
「みえNPO検討会」第1
回目の様子。来年の3月
まで、毎月さまざまなテー
マで講演と議論が行われ
ます。

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】(津市)みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動
センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 (桑名市)桑名市市民活動セ
ンター (いなべ市)いなべ市市民活動センター (東員町)とういんボランティア市民活
動支援センター (四日市市)四日市市市民活動センター/みえチャレンジプラザ/四日市
大学 (亀山市)亀山市市民協働センター (鈴鹿市)市民ネットワークすずかのぶどう/鈴
鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学/鈴鹿市立白子公民館 (松阪市)松阪市市民活動セン
ター/三重中京大学 (伊勢市)いせ市民活動センター/皇學館大学 (鳥羽市)鳥羽NPOネ
ットワークセンター・結 (志摩市)志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター
(名張市)名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青
年会議所/皇學館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター (伊賀市)伊賀市市民活
動支援センター/ウィリアム・テルズ アップル まちづくりセンター/伊賀市中央公民館/伊賀
市立図書館/上野青年会議所 (尾鷲市)東紀州コミュニティデザインセンター (明和町)
めいわ市民活動サポートセンター (南伊勢町)南伊勢町町民文化会館 (紀宝町)紀宝町
ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/メディカ
ル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、
松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野])/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/
三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健
康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/
三重県男女共同参画センター「フレンティス」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合
福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野
古道センター/各市町役場

成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

地域お助けネット (平成22年7月20日)
あおい (平成22年7月21日)
ほっこり元気村 (平成22年7月26日)

(平成22年7月10日～平成22年8月9日届出分)

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をい
ただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

JAバンク
三重県下JA/JA三重連

三重銀行

健全・安心・貢献
東海ろうきん

RE70 古紙70%の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。